

## 大分県姫島村における生活・生業に関わる重要な景観構成要素の特定

正会員 ○林孝茂\* 同 姫野由香\*\* 同 牛苗\*\*\*  
同 安藤万葉\* 同 西悠太\*文化的景観 景観構成要素 行動軌跡  
古写真 年表

## 1 研究の背景と目的

景観は人々の生活や生業の変化に伴って変遷している。そのなかでも、文化的景観は「地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの<sup>1)</sup>」と定義されている。つまり、山や川などの自然と田畑や建造物等の人工的資源の調和により形成されている景観である。このような文化的景観の保全には、各地域の文化的価値を正しく評価し、守り育てることが重要である。そのため、地域の景観が、如何なる要素により、地域特有の景観を構成しているかを明らかにすることは、重要である。

また、本研究の対象地域である姫島村は、海に囲まれた地理的特性により、歴史、文化、伝統、風土などが他の影響を受けにくい傾向にある。地域資源を生かした生活や生業、そして、風土により創出された要素が数多く存在する。

そこで本研究では、重要文化的景観の選定において重要な景観構成要素を抽出するために、生活や生業の視点から、ヒアリングや文献による調査を行う。さらに、抽出された景観構成要素のうち、古くから人々の生活や生業に関係してきた要素を、重要な景観構成要素として、特定することを目的とする。

## 2 研究の方法

文化的景観の形成において、重要な景観構成要素を特定するために、行動軌跡調査、古写真、年表の3つの方法により景観構成要素を抽出する。

## 2-1 景観構成要素の特定方法

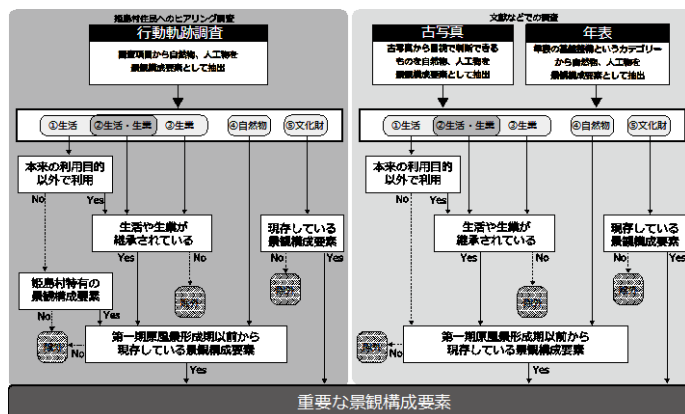


図1 景観構成要素の抽出フロー

抽出した景観構成要素は、【①生活】【②生活と生業】【③生業<sup>注1)</sup>】【④自然物】【⑤文化財<sup>注2)</sup>】の5つに分類した。【①生活】は、住民に対する行動軌跡調査<sup>注3)</sup>から、本来の利用目的以外<sup>注4)</sup>で利用されている景観構成要素を抽出した。得られた要素のうち、姫島村特有の文化であることが姫島村史からも確認できた要素は、重要な景観構成要素とした。また、古写真や年表により得られた要素のうち、姫島村の第一期原風景形成期<sup>注5)</sup>以前から現存している要素は、重要な景観構成要素とした。【②生活と生業】、【③生業】は、行動軌跡調査、古写真、年表により得られた要素のうち、生活や生業が継承されており、姫島村の第一期原風景形成期以前から現存している要素は、重要な景観構成要素とした。【④自然物】は、行動軌跡調査、古写真、年表により得られた要素のうち、姫島村の第一期原風景形成期以前から現存している要素は、重要な景観構成要素とした。【⑤文化財】は、行動軌跡調査、古写真、年表により得られた要素のうち、現存している要素は、重要な景観構成要素<sup>注6)</sup>とした(図1)。

## 3 景観構成要素の抽出

【行動軌跡調査】行動軌跡調査から景観構成要素が計69件抽出された。人工物は、49/69件抽出され、商業に関する景観構成要素は、10件であり、そのうち、江原薬店やまるい商事など商店に関する景観構成要素は、8/10件と最も多かった。

【古写真】古写真<sup>注7)</sup>から景観構成要素が、計44件抽出された。最も多く確認された景観構成要素は、海が138/200枚、次いで、樹木が124/200枚、船が82/200枚であった。これらの景観構成要素は、全200枚の半数以上確認できた。人工物は、33/44件抽出され、生業に関する景観構成要素は、19件であり、そのうち、船や漁港など漁業に関する景観構成要素は、15/19件と最も多かった。

【年表】年表<sup>注8)</sup>から景観構成要素が、計85件抽出された。人工物は、82/85件抽出され、漁業に関する景観構成要素は、23/82件と最も多かった。次いで、商業に関する景観構成要素は、15/82件と多かった。

## 4 重要な景観構成要素

## 4-1 重要な景観構成要素の特定

第3章で得られた景観構成要素計150件のうち、重要な景観構成要素は、行動軌跡調査から44/150件、古写真から28/150件、年表から33/150件、計74件を特定することができた。そのなかで、漁港、漁具倉庫、灯台などの漁

業に関する要素は、27/74 件と最も多かった。このことから海に囲まれた環境である姫島村において、漁業に関する景観構成要素は、姫島村の生業面を語る上で欠くことのできない要素であると考えられる。

#### 4-2 重要な景観構成要素の分布の特徴

次に、74 件特定した重要な景観構成要素を、地図上に示した(図 2)。図 2 から、各集落の恵比須社は、基本的に各漁港沿いの場所にあることがわかる。ただし北浦地区のみ、漁港から離れた場所にある。これは、かつて塩田業が栄えた頃に製塩工場などの建設により、埋め立てが行われたためである。漁業に関する重要な景観構成要素が、最も多く確認された地区は、「水産加工場」や「蓄養施設」などがある南浦地区で、9/30 件である。次に多く確認された地区は、「北浦波止場」や「北浦漁業センター」などがある北浦地区で、7/30 件であった。このことから北浦では古くから存在する漁港があることや、南浦では現在、漁港に多くの漁業関連施設があるため、漁業に関する重要な景観構成要素が多く存在することがわかった。

#### 5 総括

本研究では、姫島村の生活や生業に関する景観構成要素を、行動軌跡調査(69 件)、古写真(44 件)、年表(85 件)から抽出し、74 件の重要な景観構成要素を特定することができた。そのなかで、漁港、漁具倉庫、灯台などの漁業に関する要素は、27/74 件と最も多かった。また、図 2 より北浦地区から南浦地区にかけての漁業に関する重要な景観構成要素が多く存在することがわかった。このことから漁業に関する重要な景観構成要素は、海に囲まれた環境である姫島村において生活・生業を語る上で欠くことのできない要素であると考えられる。

#### 【補注】

- 注1) 研究では、姫島村の風土によって開始した生業を塩田業、漁業、農業、畜産業とする。  
 注2) 重要文化財、史跡、名勝、天然記念物など文化財保護法に基づき指定、選定、登録されたもの。

- 注3) 行動軌跡調査の対象者は、昭和 30~50 年(第二期原風景形成期)<sup>注9)</sup>当時、生産年齢(15歳以上65歳未満)であった者、かつ姫島村で生業に従事していた者とした。行動軌跡調査の対象者の属性、調査実施日は、表<sup>注10)</sup>に示す。行動軌跡調査では、まず、対象者の1日の生活の流れを把握する。そのなかで、「住民が訪れた場所」、「通行した道」、「印象的な風景」、「日頃訪れる場所」、「姫島村特有の構成要素」の5つの項目から、自然物(地形、植生)、人工物(工作地、建造物、道路工作物)を景観構成要素として抽出した。また、全地区や各地区で行うイベント・祭事が行われる場所も景観構成要素として抽出した。  
 注4) 本来の利用目的以外とは、例えば商店は買い物をするためにある場所であるが雑談の場として利用されるなどその空間が存在する目的以外で利用されていることを指す。  
 注5) 参考文献2)により姫島村の景観の変遷過程が明らかにされた。第一期原風景形成期は、「生活」の基盤整備がなされた期間であり、「生業」を営むためのルールや組織が形成されるなど、姫島村の骨格が築かれた重要な期間(1875年-1936年)。  
 注6) 姫島村住民の生活または生業及び風土により形成された景観を構成し、姫島村の人々の生活又は生業を理解するために欠くことのできないもの



図3 観音崎



図4 庄屋古庄家

注7) 古写真では、目視で対象物の範囲や境界がわかり、景観構成要素と認識できるものを景観構成要素として抽出した。この方法を古写真全200枚に適用した。

注8) 年表においては、既往研究<sup>2)</sup>により、得られた産業年表<sup>注11)</sup>のうち、基盤整備に関する要素を景観構成要素として抽出した。

注9) 第二期原風景形成期は、塩田の跡地が、クルマエビ養殖場に転換するなど、急速に「生業」が変遷し、現在の姫島村の骨格が築かれた重要な期間(1960年-1979年)。

注10) 行動軌跡調査の対象者の属性と調査実施日。属性は、「性別」、「年齢」、「居住区」、「職業」に分けて示した。

付表1 行動軌跡調査の対象者の属性、調査実施日

調査実施日	性別	属性	件数
1月16日	男	141区	1
	女	252区	11
1月23日	男	195区	4
	女	54区	14
1月27日	男	40区	4
	女	125区	4
1月29日	男	90区	5
	女	10	5
11月17日	男	3	1
	女	16	5
8月8日	男	3	4
	女	1	1
12月2日	男	3	5
	女	11	5

注11) 既往研究<sup>2)</sup>により整理した年表。生活では、「社会基盤」と「施設」、生業では、姫島村の主産業である「農業」、「漁業」、「塩田業・車及び養殖業」、「畜産業」、「商業・流通」に分類し整理した。

#### 【参考文献】

- 文化財保護法第二条第1項第五号
- 野本昂, 姫野由香, 牛苗, 大堂麻里香, 安藤万葉「生活・生業に関連した歴史年表に基づく景観変容期間の抽出—大分県姫島村の重要な文化的景観選定に関する研究—」日本建築学会, 九州支部3計画系, 2016年3月
- 2010年国民生活時間調査報告書 NHK放送文化研究所世論調査部
- 青柳直希, 岡本大「離島地域の空間利用特性と島民の生活行動にみる居住環境満足度の要因」, 平成23年度卒業論文
- 福井彩乃「生活・生業の変遷から見る重要な文化的景観構成要素の抽出と管理・運営の方向性—別府市鉄輪・明礬温泉地区の重要な文化的景観指定に関する研究—」, 平成21年度修士論文
- 橋本好明, 河村満生, 森保洋之, 池田亜依, 木本渉「祝島集落の練塀修復プロジェクトの軌跡—集落研究から練塀修復, そして修復保全へ—」広島工業大学紀要研究編第42巻(2008) pp.319-324

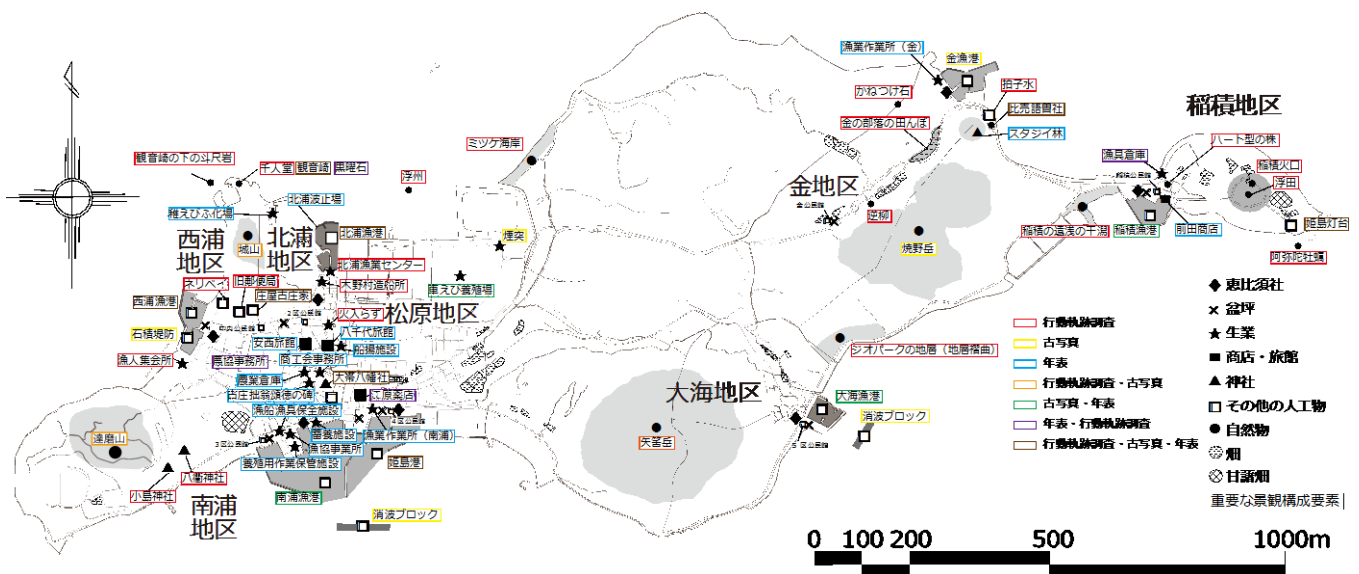


図2 重要な景観構成要素を位置する地図

\*大分大学大学院工学研究科博士前期課程 大学院生。  
 \*\*大分大学工学部福祉環境工学科 助教 博士(工学)  
 \*\*\*大分大学大学院工学研究科博士後期課程 大学院生

\*Graduate Student, Oita Univ.  
 \*\*Research Associate, Dept. of Architecture, Faculty of Eng, Oita Univ., Dr. Eng  
 \*\*\*Doctoral Course, Oita Univ.